

[前画面へ戻る](#)

科目名	英語の歴史B
科目名(英訳)	History of English B
科目ナンバー	HF332C04
詳細情報	授業外学修時間: 週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	柳 朋宏
単位数	2
開講学年	2年
開講セメスター	秋期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択: HF
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	英語英米文化学科の専門は、「言語系」と「教育系」と「文化系」とに分かれます。本授業は「言語系」に属します。また、「言語系」の授業は言語を時間軸上の一点で共時的にとらえようとする授業と、言語を時間軸に沿って通時的にとらえようとする授業とに分かれますが、本授業は後者に属します。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①: ○ ③: ○ ④: ○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	調査・情報収集力 クリティカル思考力 / 豊かな教養 国際的な視野 多様性

授業の主旨 (概要)	英語が現在のような言語に発達した要因について、外的要因である言語接触や文化的歴史的観点から考察する。現代の英語に観察される発音と綴字の乖離などの不規則性は、他言語と共存し多言語を取り入れた結果であることを学び、国際的な視点から英語の多様性を理解する。	
具体的 達成目標	現代の英語にみられる外的要因に起因する不規則性をみつけ、その理由を適切に説明できるようになる。また、英語は歴史的に国際社会・多文化共生社会の中で発達した言語であることを理解できるようになる。	
	1	【内容】 【第1週】オリエンテーション-英語の起源
		【授業外学習】 【授業外学修】英語史の概要を把握し、時代区分を理解する。
	2	【内容】 【第2週】英語とケルト語
		【授業外学習】 【授業外学修】現代英語におけるケルト語の痕跡をまとめる。
	3	【内容】 【第3週】英語と古ノルド語
		【授業外学習】 【授業外学修】現代英語における古ノルド語の痕跡をまとめる。
	4	【内容】 【第4週】英語とノルマン・フランス語
		【授業外学習】 【授業外学修】現代英語におけるノルマン・フランス語の痕跡をまとめる。
	5	【内容】 【第5週】英語訳聖書の歴史(入門)
		【授業外学習】 【授業外学修】数種類の英訳聖書を用いて、英語の通時的変化をまとめる。
	6	【内容】 【第6週】英語訳聖書の歴史(発展)
		【授業外学習】 【授業外学修】数種類の英訳聖書を用いて、英語の通時的変化をまとめる。

7 英語の歴史B

授業計画	7	【内容】	【第7週】写本と書体			
		【授業外学習】	【授業外学修】中世の手書き文書で用いられた書体についてまとめる。			
	8	【内容】	【第8週】写本から印刷本へーウィリアム・キャクストン			
		【授業外学習】	【授業外学修】初期印刷本の特徴についてまとめる。			
	9	【内容】	【第9週】英語とラテン語			
		【授業外学習】	【授業外学修】現代英語におけるラテン語の痕跡をまとめる。			
	10	【内容】	【第10週】英語辞書の歴史と発達			
		【授業外学習】	【授業外学修】種々の英語辞書を使い、日常使用している語を調べる。			
	11	【内容】	【第11週】アメリカにわたった英語			
		【授業外学習】	【授業外学修】アメリカへの移住を決意した人々と移住の目的をまとめる。			
	12	【内容】	【第12週】初期アメリカでの英語教育			
		【授業外学習】	【授業外学修】『イングランド初級読本』の内容についてまとめる。			
	13	【内容】	【第13週】シェイクスピアの英語			
		【授業外学習】	【授業外学修】シェイクスピアが用いた言語技巧についてまとめる。			
	14	【内容】	【第14週】国語浄化論争			
		【授業外学習】	【授業外学修】英語の規範化について具体例を挙げる。			
15	【内容】	【第15週】英語のこれからーまとめ				
	【授業外学習】	【授業外学修】授業内容を踏まえて、英語の未来について私見をまとめる。				
授業方法	配布資料に沿って講義を進める。視聴覚教材を適宜使用する。 小テストのフィードバックは翌週の授業で実施する。					
成績の評価方法	小テスト（20%）、課題（30%）、最終試験（50%）により総合的に評価する。 英語の発達について、文化的背景など「外的要因」から、自分の言葉で適切に説明できるかどうかで評価する。					
成績の評価基準	小テスト、課題、最終試験と授業への取組姿勢・貢献度を加味して総合的に評価し、100点満点に換算した数値が60点以上であれば合格とする。 ただし理由を問わず2回連続で欠席した場合もしくは欠席が4回以上ある場合は不合格とする。 遅刻は授業開始後15分までとし、2回で欠席1回分とする。					
教科書	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『使用しない』				
参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『英語文化史を知るための15章』	武内信一	研究社		
	2.	『文化史的にみた英語史』	Gerry Knowles（小野茂・小野恭子訳）	開文社出版		
備考						
関連ホームページ						
メールアドレス	柳 朋宏 yanagi@fsc.chubu.ac.jp					
オフィスアワー						